

経済学の初心者のために (超入門編)

- ・西村和雄『満員御礼! 経済学なんでもお悩み相談所』日経ビジネス人文庫、2006年、730円 (税込)  
**出版社/著者からの内容紹介**  
 「売上が減ったスーパーは営業時間を延長すべきか?—収穫増」など、抽象的で分かりにくい経済理論を、人生相談への回答という形でやさしく解説したユニークな本。あなたの悩みも経済学的に考えれば即解決!

経済学の初心者のために (入門編)

- ・伊藤元重『はじめての経済学 (上・下)』日経文庫、2004年、各830円 (税別)  
**amazon.co.jp の内容紹介**  
 経済学の対象は、公共部門の運営、貿易問題から企業経営まで幅広い。経済学の基本さえマスターしていれば、日頃何気なく読んでいる新聞記事も、何が問題なのかが見えてくる。  
 本書は、経済学のこれだけは知っておきたいエッセンスを、雇用、地球環境問題、出店戦略などの事例を交えてやさしく記述。上巻では、ミクロ経済学、マクロ経済学ゲーム理論など経済学の基本を解説する。経済学の考え方を現実に即して学ぶために、石油ショック、円高など現在の日本経済を方向付けた事件についても解説した。下巻では、公共経済、金融、国際経済などのトピックを取り上げ、経済学の発想で現実の問題をどのように捉えるべきかを解説。コラム、用語解説を読めば、経済学がより深く理解できる。ニュースのどこが重要なかわかる経済センスが身につく。

日本経済についての基礎知識

- ・三菱総合研究所 編『最新キーワードでわかる! 日本経済入門』日経ビジネス人文庫、2008年、680円 (税込)  
**出版社/著者からの内容紹介**  
 日々の経済ニュースを理解するには、頻出キーワードの意味を学ぶのが一番の早道。GDP、景気循環など基本用語から企業再編とM&Aといった最新トピックまで、59の言葉を明快に解説。日経がもっと面白くなる!

経営学の初心者のために

- ・日本経済新聞社編『やさしい経営学』日経ビジネス人文庫、2002年、680円 (税込)  
**出版社/著者からの内容紹介**  
 日本の経営学界の重鎮、気鋭の研究者、そして御手洗キヤノン社長ら注目の経営者17人が、戦略論、企業論、組織論などに分けて「どう実践に活用する学問か」を具体的にやさしく教示。学生・ビジネスマン必読の書。

グローバルマネージメント - 異文化と向き合うために

- ・船川淳志『人気MBA講師が教えるグローバルマネージャー読本』日経ビジネス人文庫、2003年、840円 (税込)  
**出版社/著者からの内容紹介**  
 グローバル時代の企業や個人が、多言語、多文化、多国籍という課題を乗り越え効果的にビジネスを行う経営のフレームワーク「トランスカルチュラル・マネージメント」とは。求められるマインドとスキルを解説する。

企業経営戦略について

- ・W・チャン・キム、レネ・モボルニュ『ブルー・オーシャン戦略』有賀裕子訳、ランダムハウス講談社、2005年、1900円+税

**Kinokuniya Book Web の内容紹介**

差別化、低コスト、コア・コンピタンス、ブランディング…。

これまで数々の「戦略」がもてはやされてきたが、ライバルと同じ市場で戦うかぎり、どれほど巧妙に戦略を練ったところでいずれ消耗戦を強いられることになる。血みどろの戦いが繰り広げられるこの既存の市場を「レッド・オーシャン (赤い海)」と呼ぶのなら、いま企業がめざすべきは、競争自体を無意味なものにする未開拓の市場、「ブルー・オーシャン (青い海)」の創造だろう。

本書は、T型フォードからCNN、セメックス、ニューヨーク市警察、シルク・ドゥ・ソレイユまで、過去120年間30以上の業界で生み出されてきたブルー・オーシャンの調査結果をもとに、未知の市場空間を創造し、差別化と低コストを同時に実現するための戦略を説き明かした画期的な書である。

英語の原著とフランス語訳の両方を利用すると、英語/フランス語力の訓練にもなる。

W. Chan Kim, Renee Mauborgne, *Blue Ocean Strategy: How To Create Uncontested Market Space And Make The Competition Irrelevant*, Harvard Business School Press, 2005  
 Kim Chan, Renee Mauborgne et Larry Cohen, *Strategie Ocean Bleu : Comment creer de nouveaux espaces strategiques*, Village Mondial, 2005. EUR 30,00

企業会計・経営の基本を知るために

- ・林總『餃子屋と高級フレンチでは、どちらが儲かるか?』ダイヤモンド社、2006年、1,575円 (税込)

**出版社/著者からの内容紹介**

本書は、ビジネスストーリーで学ぶ会計の入門書です。  
 <ストーリー> 中堅アパレルメーカー「ハンナ」のデザイナー由紀は、父の遺言により倒産寸前の会社社長に就任した。しかし、経営に何の興味もなければ経験もない由紀は、途方に暮れてしまう。さらに、メインバンクの文京銀行本駒込支店長高木から、「1年経っても業績が改善しなければ融資を引き上げる」と通告されてしまう由紀は会計のプロである安曇の指南を受けながら、つぎつぎと襲いかかる困難に立ち向かう。そして1年後、運命の日がやってきた…。

<本書の読みどころ> 本書は、会計についてほとんど知識のないビジネスパーソンでも、ストーリーを読み進めるうちに、自然に決算書の読み方やキャッシュフロー経営のしくみ、経営に必要な会計センスが身に付くという内容になっています。会計について知りたい人、会社数字に詳しくなりたい人、経理部や経営企画部の人、広くビジネスパーソン全般に、おすすめしたい1冊です。

マーケティングについての基礎知識

- ・田村正紀『マーケティングの知識』日経文庫、1998年、872円 (税込)

**出版社/著者からの内容紹介**

マーケティングとは、企業がその製品の需要を創造するために行う市場への働きかけをいう。本書は、市場のと

らえ方から、需要の創造、営業活動によるその需要の獲得までをていねいに解説。

- ・近藤光雄『マーケティング・リサーチ入門 (第3版)』日経文庫、2004年、872円 (税込)

**出版社/著者からの内容紹介**

新製品開発やブランド育成など、企業がマーケティング活動を進める上で不可欠なのがリサーチだ。基礎となるマーケティングの考え方からスタートし、リサーチの考え方、実際の活用事例まで丁寧に解説する入門書。

- ・和田充夫、日本マーケティング協会 編『マーケティング用語辞典』日経文庫、2005年、1,260円 (税込)

**出版社/著者からの内容紹介**

マーケティング戦略の手法、マーケティング体系を構成する要素 (リサーチ、商品・サービス、営業、情報など) に関する約 800 語をコンパクトに解説する。IT 化、顧客志向、グローバル化などの新しい流れにも対応。

**レポート・小論文の書き方**

- ・江川純『レポート・小論文の書き方』日本経済新聞社 (日経文庫)、1998年、830円。

ビジネス系のレポート・小論文参考書を 1 冊推薦するならこれ。例文やアドバイスも、すでに実務に就いているビジネスマンが接する (読んだり書いたりする) であろう文章を念頭に置いて選んである。ビジネスマンだけでなく、学生が授業のレポートを書くための参考書としても使える。

**会計学についての基礎知識**

- ・桜井久勝『会計学入門 (第3版)』日経文庫、2006年、903円 (税込)

**出版社 / 著者からの内容紹介**

貸借対照表の区分変更や株主資本等変動計算書など、2006年5月施行の新会社法にも全面対応! 財務会計の制度と、その背後にある会計学の理論を分かりやすくコンパクトに解説した入門テキストの決定版。

**論理的思考法の訓練のために**

- ・飯久保廣嗣『質問力 ― 論理的に「考える」ためのトレーニング ―』日経ビジネス人文庫、2006年、680円 (税込)

**出版社/著者からの内容紹介**

「できる? できない?」「それは何?」。よく耳にする質問は事態を混乱させるばかり。論理思考による優れた質問が、問題解決にどう役立つか、身近な事例で詳しく解説したヒット作に、論理力テストを加えて文庫化。

- ・飯久保廣嗣『問題解決力 ― 仕事の鬼ほど失敗ばかりする理由 ―』日経ビジネス人文庫、2007年、680円 (税込)

**出版社/著者からの内容紹介**

著即断即決の鬼上司ほど失敗ばかり。では、なぜ「できる人」は、難しい問題やトラブルをいとも簡単に解決するのか――。要領のいい人、悪い人の「頭の中身」を解剖し、論理的な思考技術をわかりやすく解説する入門書。

**ものの見方、考え方の訓練**

- ・荻谷剛彦『知的複眼思考法 誰でも持っている創造力のスイッチ』講談社 (+α文庫) 2002年、924円

レポート/小論文の書き方をいくら勉強しても、実際には良いものは書けない。ものの見方・考え方も訓練する必要がある。第一に推薦するのはこの本。常識的なものの見方、先入観にとらわれているうちは、しっかりしたレポートや論文は書けない。しかし、さまざまな角度からものを見たり、考えたりすることができるようになるためには、知的訓練が必要である。この本を読んで「複眼的」なものを見る眼を養おう。